

令和9年度 (2027年度)

学 生 募 集 要 項

【 学校推薦型選抜 】

- ・ 他の大学の学校推薦型選抜、総合型選抜との併願は認めません。
- ・ 出願はインターネットに限ります。必ず「総合型・学校推薦型・特別選抜インターネット出願利用ガイド」を確認し、出願してください。
- ・ 出願書類の提出は郵送に限ります。
- ・ 持参による出願書類の提出は受け付けません。

※やむを得ない事情等により、この要項に記載されている内容が変更になる場合があります。変更が生じた場合は、本学ウェブサイトにて随時公表しますので、必ず本学ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。



新潟県立大学

University of NIIGATA PREFECTURE

目 次

I	新潟県立大学の概要	1
II	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
III	学校推薦型選抜	6
1	募集人員	6
2	出願資格	6
3	推薦要件	6
4	選抜方法	6
5	出願手続	9
6	合格者発表	12
7	個人情報の開示等	12
8	入学手続、初年度納付金、経済的支援制度	13
	試験場案内図	冊子裏面

入学定員・募集人員

（単位：人）

学 部	学 科	定 員	募 集 人 員						
			一 般 選 抜			総合型 選 抜	学校 推薦型 選 抜	特 別 選 抜	
			A 日程	B 日程	C 日程			海 外 帰 国 生 特 別 選 抜	外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜
国際地域学部	国際地域学科	180	80	40	20	－	40	若干名	若干名
国際経済学部	国際経済学科	100	45	25	5	若干名	25	若干名	若干名
人間生活学部	子ども学科	50	20	8	5	－	15	若干名	2
	健康栄養学科	40	15	12	3	－	10	若干名	若干名
合 計		370	160	85	33	－	90	若干名	(2)

注）総合型選抜及び特別選抜における募集人員の若干名は、それぞれの学部学科の一般選抜B日程の募集人員に含まれます。

令和9年度（2027年度）入学者選抜日程

選抜区分	インターネット 出願登録期間	入学検定料 払込期限	出願書類 郵送締切日 (消印有効)	試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 続
学校推薦型 選 抜	令和8年 11月2日(月) ～11月6日(金) の17:00まで	<u>出願登録した 翌日の23:59まで</u> ただし、 出願登録最終日 (11/6)に出願登 録した場合は当日 の23:59まで	令和8年 11月6日(金) 消印有効	令和8年 11月21日(土)	令和8年 12月3日(木)	令和8年 12月7日(月) ～12月11日(金)

I 新潟県立大学の概要

1 新潟県立大学の基本理念

新潟県立大学は、国際性の涵養、地域性の重視、人間性の涵養を大学の基本理念とします。

○ 国際性の涵養

東アジアをはじめとする世界の人々との社会的・文化的交流の促進を目指し、グローバルな視点からの教育・研究を進めます。

○ 地域性の重視

地域づくりや地域の共生を担う人材を育成し、地域社会に開かれた大学を目指します。

○ 人間性の涵養

豊かな人間性を培うために、学生一人ひとりに対してきめ細やかな教育を行い、学生同士が切磋琢磨し学び合う環境をつくります。

2 新潟県立大学が目指すもの

新潟県立大学は、国際性の涵養、地域性の重視、人間性の涵養を大学の基本理念とし、グローバルな視点から地域づくりを担う中核的な人材を育成することを目的とします。また、新潟から世界に向けて交流の輪を広げ、情報発信するとともに、教育研究の成果を地域に還元して、持続的な地域の発展と共生社会の実現に貢献する大学を目指します。

○ 国際地域学部

国際地域学部では、「国際」と「地域」の視点から教育・研究を行い、地域のグローバル化に対応し国際的に活躍できる人材を育成します。国際地域学科1学科とし、国際関係・比較文化・露中韓の3つのコースを設け、国際的・学際的な教育・研究を行います。語学活用能力、特に英語で学ぶ能力とコミュニケーション能力を伸張し、新潟から世界へ発信し活躍する人材を育成します。

○ 国際経済学部

国際経済学部では、最新の経済・産業・企業を理解する専門能力、データ・情報を実践的に分析する力、国際的なコミュニケーションを担う確かな語学力を身につけ、国際経済・地域経済の舞台に羽ばたく人材を育成します。

○ 人間生活学部

人間生活学部では、「人間」と「生活」の視点から教育・研究を行い、少子高齢化が進む地域社会に対応し、魅力ある地域社会を実現することのできる人材を育成します。人間生活学部には子ども学科と健康栄養学科の2学科を置き、子ども学科では、質の高い保育者や地域で子どもや子育てを支援する人材を、健康栄養学科では、食生活の改善を通じて地域の健康増進を推進する人材を育成します。

3 教育課程

教育課程については、学部共通で学ぶ基盤科目とそれぞれの専門に応じて学ぶ展開科目を設置します。基盤科目には、外国語科目の他、基本技能科目（情報、体育など）、現代教養科目（新潟学、歴史と文化、人間社会と科学、社会と経済の仕組み）、さらに海外研修科目を置きます。展開科目は、それぞれの学部学科の理念に基づいて配置され、展開科目を学ぶ中で高度な専門的知識・技術を身につけます。

また、教育の根幹はヒューマンリレーションにあると考えられることから、教員と学生の人間的交流を大切にしながら、自己への深い省察力と他者との豊かな対話力を身につけた人材を育成します。

Ⅱ アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

1 国際地域学部

(1) 教育内容・特色

国際地域学部では、外国語の高い運用能力の習得と、国際関係と地域の文化・社会の複合的な学修をととして、「国際と地域」の諸課題に対応できる人材を育成します。

(2) 国際地域学部が求める学生像

英語の高いスキルを習得する意欲と、そのための十分な基礎的能力を持ち、さらに以下のいずれか一つまたは複数を志向する人を求めます。

- ◎現代世界が直面する諸課題について主体的に学ぶこと。
 - ◎異なる文化や言語について比較、探求すること。
 - ◎ロシア・中国・韓国のいずれかの言語を習得し文化や社会を理解すること。
- 上記に加えて、以下のことを志向する人も求めています。
- ◎中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)の取得をめざすこと。
 - ◎海外留学、国際交流、地域のボランティア活動などに積極的に参加すること。

(3) 大学入学までに身につけておくことが望ましい知識・能力・態度

高等学校における学力の三要素、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関して、以下の点を次項に掲げる方法で確認・評価します。

基礎的な知識・技能

英語の4技能「聞く・話す・読む・書く」をバランスよく習得していること。入学時に CEFR(ヨーロッパ共通参照枠)B1レベル(「自立した言語使用者」のレベル、英検2級程度)以上の英語運用能力を有していること。

思考力・判断力・表現力

現代社会の課題や多様な文化に対する関心と洞察力を有し、自分の考えを論理的にまとめて、わかりやすく表現できること。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

国際社会の平和と発展、多文化共生社会の実現、などのために貢献する意欲を有し、それに向かって幅広い知識を身につけたり活動に参加したりするなど、自ら進んで積極的に学んでいること。

(4) 選抜の基本方針

学校推薦型選抜

小論文、面接及び調査書等の内容を総合的に用いて、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。小論文では特に「問題理解力」「文章構成力」「論理的思考力」等を評価します。

特別選抜（海外帰国生特別選抜）

書類審査、面接及び筆記試験の内容を総合的に用いて、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。試験は日本語と英語で行い、それぞれの言語における「理解力」「論理的思考力」「文章構成力」「表現力」等を評価します。

特別選抜（外国人留学生特別選抜）

書類審査、面接及び筆記試験の内容を総合的に用いて、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。試験は日本語と英語で行い、それぞれの言語における「理解力」「論理的思考力」「文章構成力」「表現力」等を評価します。

一般選抜 A 日程

大学入学共通テストにおいては3教科3科目を課し、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を評価します。教科・科目に係る個別テストでは英語により、主に「思考力・判断力・表現力」に関わる「読解力」「表現力」を評価します。また、調査書により主に「主体性・協働性」を評価します。

一般選抜 B 日程

大学入学共通テストにおいては5教科5科目を課し、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を評価します。教科・科目に係る個別テストでは英語により、主に「思考力・判断力・表現力」に関わる「読解力」「表現力」を評価します。また、調査書により主に「主体性・協働性」を評価します。

一般選抜 C 日程

大学入学共通テストにおいては英語(リスニングを含む)および国語を課し、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を評価します。小論文により、主に「思考力・判断力・表現力」に関わる「問題理解力」「文章構成力」「論理的思考力」等を評価します。また、調査書により主に「主体性・協働性」を評価します。

2 国際経済学部

(1) 教育内容・特色

国際経済学部は、「国際的視野から経済・産業・企業の仕組みを理解する専門知識を有し、情報分析力、確かな語学力・国際コミュニケーション力を有する人材を育成する」ことを目的とし、専門性の高い能力を有する人材の教育を目指しています。また、質の高い教育を支え、地域や社会のニーズを踏まえた研究活動を推進していきます。

(2) 国際経済学部が求める人材像

国際経済学部では、次のような学生を求めています。

入学を期待する人材

- ◎国際経済及び地域経済に関心を有し、専門的能力を高めることに意欲を有する者
- ◎経済を読み解くための情報・データに関心を有し、その分析能力を高めることに意欲を有する者
- ◎国際経済や地域経済に関して学んだ知識や思考力を生かして社会や地域に貢献する意欲を有する者

(3) 大学入学までに身につけておくことが望ましい知識・能力・態度

高等学校における学力の三要素、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関して以下の学力評価を行います。

基礎的な知識・技能

経済学を学ぶために必要な基礎学力として、高等学校等で身に付ける英語、国語、数学の知識。特に英語に関しては、「読む・書く・話す・聞く」の4技能をバランスよく習得し、幅広い基礎学力を身に付けていること。

思考力・判断力・表現力

広く経済社会の様々な動きや変化に対する探究心を有し、自らの考えを論理的に表現し、わかりやすく伝えることができること。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

国際及び地域の経済問題に常に関心をもち、それらの解決に向けて専門知識・思考方法を自ら活用し、国際社会及び地域社会に積極的に貢献しようという意識を有していること。

(4) 選抜の基本方針

総合型選抜

面接及び出願書類等(調査書、評価書、志望理由書、各種の高度な資格・技能試験の証明書)の内容により、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

学校推薦型選抜

小論文により、主に「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類等(調査書、推薦書、志望理由書)の内容により、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

特別選抜(海外帰国生特別選抜)

小論文により、主に「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類等(成績証明書等、志望理由書、英語外部試験成績証明書)の内容により、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

特別選抜(外国人留学生特別選抜)

特別選抜(海外帰国生特別選抜)に準じて総合的に判定します。

一般選抜A日程

大学入学共通テストにおいては5教科5科目を課し、主に「知識・技能」を評価します。教科・科目に係る個別テストでは、英語、数学により、及び小論文により、「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を評価します。また調査書により、主に「主体性・協働性」を評価します。

一般選抜B日程

大学入学共通テストにおいては3教科3科目を課し、主に「知識・技能」を評価します。教科・科目に係る個別テストでは、英語、数学により、「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を評価します。また調査書により、主に「主体性・協働性」を評価します。

一般選抜C日程

大学入学共通テストにおいては英語(リスニングを含む)および数学を課し、主に「知識・技能」を評価します。小論文により、主に「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、調査書により、主に「主体性・協働性」を評価します。

3 人間生活学部

人間生活学部は、人間に対する深い理解に基づき、グローバル化の進む地域の中で人々の QOL (Quality of Life) の向上を志向しながら、「育」と「食」を中心に豊かなヒューマンライフを創造し、子どもから高齢者まで生き生きと暮らせる社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。人間生活学部は、「育」をキーワードとする子ども学科と、「食」をキーワードとする健康栄養学科からなっており、それぞれの学科の目的を理解し、夢に向かって努力する学生を求めています。

子ども学科

(1) 教育内容・特色

人間に対する深い理解に基づき、子どもの発達とそれを支える教育、生活環境及び社会環境に関して科学的に探求し、実践的・専門的力量を持つ中核的人材を育成します。

(2) 子ども学科が求める学生像

子ども学科では、次のような学生を求めています。

- ◎乳幼児期の子どもの育ちや子育て支援に関する基礎的な知識・技能をもつ人
- ◎子どもや家庭、地域社会、国際社会の様々な課題に関心を持ち、その解決を求める際に必要となる思考力・判断力・表現力をもつ人
- ◎地域社会並びに国際社会で活躍する教育、保育、社会福祉の専門職者となるため、他者の考え、気持ちを理解し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をもつ人

(3) 大学入学までに身につけておくことが望ましい知識・能力・態度

高等学校における学力の三要素、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関して以下の学力評価を行います。

基礎的な知識・技能

- ◎高等学校までの教育課程を介して培われる各教科の基礎的・基本的な知識及び技能
- ◎教育、保育、社会福祉を学術的に探究するのに必要となる総合的な知識及び技能

思考力・判断力・表現力

- ◎情報を適切に読み解き、問題を深く理解する思考力
- ◎物事を複数の視点から考察し、自ら選択、評価、決定を行う判断力
- ◎自らの考えを他者に対して論理的かつわかりやすく伝える表現力

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ◎専門職者を目指して様々な活動に主体的に取り組むとともに、他者に対して共感性や思いやりの心を持って行動する
- ◎様々な立場の人々とコミュニケーションをとりながら協働して活動する
- ◎グローバルな視野と多様な社会や人への関心を持つ

(4) 選抜の基本方針

学校推薦型選抜

小論文、面接及び出願書類(調査書・志望理由書等)の内容により、本学科で学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と専門職に求められる適性及び意欲を評価します。

特別選抜(海外帰国生特別選抜)

学校推薦型選抜に準じて総合的に判定します。

特別選抜(外国人留学生特別選抜)

学校推薦型選抜に準じて総合的に判定します。

一般選抜A日程

総合的な学力を活かし、地域社会並びに国際社会で活躍できる力を重視します。大学入学共通テストの国語、英語(リスニングを含む)、数学、理科及び選択科目の5教科により本学科で学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類により「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と専門職に求められる適性及び意欲を評価します。

一般選抜B日程

様々な課題を思考、読解、分析し、自らの考えを論理的かつ的確に表現できる力を重視します。大学入学共通テストの国語、英語(リスニングを含む)、選択科目の3教科により「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を問うほか、小論文により主に「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接・調査書等により「主体性・協働性」と専門職に求められる適性及び意欲を評価します。

一般選抜C日程

語学力を活かし、地域社会並びに国際社会で活躍できる力を重視します。大学入学共通テストの国語、英語(リスニングを含む)、選択科目の3教科により本学科で学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類により、主に「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と専門職に求められる適性及び意欲を評価します。

健康栄養学科

(1) 教育内容・特色

社会におけるあらゆる人の健康と生活の質の向上に寄与するため、科学的に探求し、実践的・専門的力量を持つリーダーに成長できる管理栄養士を育成します。

(2) 健康栄養学科が求める学生像

健康栄養学科では、次のような学生を求めています。

- ◎栄養学を学び続けるために必要な基礎的な知識・技能をもつ人
- ◎情報の収集・評価・分析・統合と関連付け・発信に必要な、思考力・判断力・表現力をもつ人
- ◎管理栄養士として、地域社会並びに国際社会で食を通して人々の健康や生活の質の向上に貢献したいという意思をもち、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をもち、課題を発見し、解決できる人

(3) 大学入学までに身につけておくことが望ましい知識・能力・態度

高等学校における学力の三要素、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関して以下の学力評価を行います。

基礎的な知識・技能

- ◎高等学校までの教育課程を介して培われる各教科の基礎的・基本的な知識及び技能
- ◎栄養学を学術的に探究するのに必要となる知識及び技能

思考力・判断力・表現力

- ◎課題は何かを考え、解決しようと深く考える思考力
- ◎情報を収集し複数の視点から評価・分析し、客観的、的確に決定する判断力
- ◎自らの判断や考えを他者に対して論理的かつ的確に説明する表現力

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ◎管理栄養士として、食を通して社会や人の健康や生活の質の向上に貢献したいという意思
- ◎様々な立場の人々とコミュニケーションをとりながら協働して活動する
- ◎グローバルな視野と多様な社会や人への関心を持つ

(4) 選抜の基本方針

学校推薦型選抜

化学の試験により栄養学を学ぶうえで必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類(調査書・志望理由書等)の内容により「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と管理栄養士に求められる適性及び意欲を評価します。

特別選抜(海外帰国生特別選抜)

学校推薦型選抜に準じて総合的に判定します。

特別選抜(外国人留学生特別選抜)

学校推薦型選抜に準じて総合的に判定します。

一般選抜A日程

栄養学の知識や情報の取得・発信に意欲がある学生を選抜します。大学入学共通テストの国語、英語(リスニングを含む)、数学、理科の4教科により栄養学を学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類により「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と管理栄養士に求められる適性及び意欲を評価します。

一般選抜B日程

人々の健康に貢献したいという意欲を持つ多様な学生を選抜します。大学入学共通テストの国語、英語(リスニングを含む)、数学、理科及び選択科目の5教科により栄養学を学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類により「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と管理栄養士に求められる適性及び意欲を評価します。

一般選抜C日程

先進的な栄養学の知識や情報の取得・発信に意欲がある学生を選抜します。大学入学共通テストの英語(リスニングを含む)及び理科により栄養学を学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類により「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と管理栄養士に求められる適性及び意欲を評価します。

Ⅲ 学校推薦型選抜

1 募集人員

(単位：人)

学部・学科	国際地域学部	国際経済学部	人間生活学部	
	国際地域学科	国際経済学科	子ども学科	健康栄養学科
募集人員	40	25	15	10

注) 募集人員のうち概ね3分の2は、新潟県内の高等学校等(※)からの受験者から選抜します。

※「新潟県内の高等学校等からの受験者」とは、本人が令和8年(2026年)1月1日以降引き続き新潟県内に居住している者で、新潟県内の高等学校等を令和8年度(2026年度)中に卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者をいいます。

2 出願資格

本学の学校推薦型選抜に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者に限ります。

- (1) 日本国内の高等学校又は中等教育学校を令和8年度中に卒業した者又は卒業見込みの者
- (2) 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を令和8年度中に修了した者又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了した者又は修了見込みの者

3 推薦要件

本学の学校推薦型選抜に推薦できる者は、次の各号のいずれにも該当する者に限ります。

学部・学科	推薦要件
国際地域学部 国際地域学科	(1) 人物・学力ともに優秀であり、志望する学部・学科に関する学習・研究意欲が高い者で、所属学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 調査書の学習成績の状況が英語4.0以上の者 (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
国際経済学部 国際経済学科	(1) 人物・学力ともに優秀であり、志望する学部・学科に関する学習・研究意欲が高い者で、所属学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 調査書の英語もしくは数学の学習成績の状況が4.0以上の者 ただし、数学の学習成績の状況については、「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の4科目を修得していること (※上記に指定する科目と同様の内容を、他の名称の科目で履修している場合は、その旨の学校長名の証明を調査書に添付すること) (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
人間生活学部 子ども学科	(1) 人物・学力ともに優秀であり、志望する学部・学科に関する学習・研究意欲が高い者で、所属学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
人間生活学部 健康栄養学科	(1) 人物・学力ともに優秀であり、志望する学部・学科に関する学習・研究意欲が高い者で、所属学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

4 選抜方法

入学者の選抜は、本学が実施する検査等及び出願書類(調査書等)の内容を総合的に判定して選抜します。

なお、募集人員のうち概ね3分の2は新潟県内の高等学校等からの受験者から選抜し、残りの募集人員については、新潟県内外の高等学校等からの受験者から選抜します。

(1) 教科・科目に係る個別テスト、小論文、面接の配点

(7) 国際地域学部 国際地域学科

(単位：点)

本学で実施する試験		調査書等	合計
小論文	面接		
250	150	*	400

(4) 国際経済学部 国際経済学科

(単位：点)

本学で実施する試験		調査書等	合計
小論文	面接		
100	100	*	200

(7) 人間生活学部 子ども学科

(単位：点)

本学で実施する試験		調査書等	合計
小論文	面接		
100	100	*	200

(I) 人間生活学部 健康栄養学科

(単位：点)

本学で実施する試験		調査書等	合計
化学	面接		
200	300	*	500

* 調査書等は、面接の資料として総合的に評価します。

(2) 選抜試験日時、検査内容及び試験場

国際地域学部 国際地域学科

期日	受付開始	入室完了	試験時間	検査等	試験場
令和8年 11月21日(土)	8:30	9:00	9:30～11:00	小論文	新潟県立大学
		12:00	12:00～	面接	

国際経済学部 国際経済学科

期日	受付開始	入室完了	試験時間	検査等	試験場
令和8年 11月21日(土)	8:30	9:00	9:30～10:30	小論文	新潟県立大学
		11:30	11:30～	面接	

人間生活学部 子ども学科

期日	受付開始	入室完了	試験時間	検査等	試験場
令和8年 11月21日(土)	8:30	9:00	9:30～11:00	小論文	新潟県立大学
		12:00	12:00～	面接	

人間生活学部 健康栄養学科

期日	受付開始	入室完了	試験時間	検査等	試験場
令和 8 年 11 月 21 日 (土)	8:30	9:00	9:30～10:30	化学(※)	新潟県立大学
		11:30	11:30～	面接	

※化学の出題範囲は以下のとおり。

- 1) 化学基礎全般
- 2) 化学：文部科学省の高等学校学習指導要領に示された内容のうち、
「(1)物質の状態と平衡、(2)物質の変化と平衡」から出題。

注) ・人間生活学部健康栄養学科の面接は、集団討論と個人面接を行います。
 ・受験者は、9 時までに指定された試験室等への入室を完了してください。
 ・出願状況により、試験場・試験時間が変更となる場合があります。試験場・試験時間が変更となる場合は、受験票に記載して通知します。
 ・試験場には受験者用駐車スペースを設けませんので、車、バイクによる試験場への入場は原則として禁止します。公共交通機関をご利用ください。(冊子裏面「試験場案内図」参照)

(3) 受験上の注意事項

- ・試験当日は、「受験票」、「筆記用具」及び「時計（ウェアラブル端末は不可）」を必ず持参してください。なお、「受験票」は試験後に必要となる場合がありますので、試験後も大切に保管してください。
- ・駐車場は利用できません。公共交通機関を利用し、時間に余裕を持って行動してください。会場付近の商業施設等への駐停車は周辺の迷惑になりますので、おやめください。
- ・携帯電話等は、試験室に入る前に必ずアラームを解除の上、電源を切って、バッグ等にしまい、身に付けることがないようにしてください。
- ・筆記用具は、黒鉛筆（黒シャープペンシルを含む）、鉛筆削り（電動式を除く）及び消しゴムとします。これ以外は使用できません。（耳栓は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。）
- ・時計は計時機能だけのもの（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいものは不可）に限りです。試験中は時計のアラームを使用しないでください。
- ・筆記試験（小論文、化学）への遅刻は、開始後 30 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は認めません。
- ・面接の際は、決められた受験者控室に集合し、待機してください。なお、面接開始時刻（国際地域学部は 12 時、国際経済学部は 11 時 30 分、人間生活学部子ども学科は 12 時、人間生活学部健康栄養学科は 11 時 30 分）に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱いします。
- ・面接時間は午後（国際経済学部、人間生活学部健康栄養学科は 11 時 30 分から）にかかりますので、昼食を準備してください。
- ・面接の待ち時間が長時間にわたる場合があります。面接試験控室において、読書、参考書等の閲覧や、持参した飲み物を飲んでもかまいません。
- ・受験者本人の試験終了まで、試験場からの外出を禁止します。
- ・受験者の付添者（保護者等）は、指定する場所以外に入場することはできません。
- ・上履きは必要ありません。
- ・検査等を 1 教科でも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ・基本的な感染症対策は重要であり、手洗い等の手指衛生や感染症の流行状況を踏まえた対策を励行してください。
- ・必要に応じて、試験室の換気を行う場合がありますので、上着など暖かい服装を持参してください。
- ・その他必要が生じた場合は、受験票に記載して通知します。

(4) 不正行為等の取り扱い

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、以後の受験はできなくなります。また、既に受験した試験の全ての成績を無効とします。なお、警察に被害届を提出する場合があります。
 - (ア) インターネット出願サイト、入学志願票、受験票、受験照合票、解答用紙へ故意に虚偽の登録・記入（本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号の記入など）をすること。
 - (イ) カンニング（カンニングペーパー・教科書・参考書・辞書等の書籍類、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わるなど）をすること。
 - (ウ) 試験時間中に、禁止用具（指定された筆記用具以外の用具（定規、下敷き、色鉛筆、耳栓、電子機器類等））を使用すること。
 - (エ) 試験時間中に、携帯電話等を使用すること。
 - (オ) 試験開始前及び試験終了後に、問題冊子を開いたり解答に着手すること。
 - (カ) 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - (キ) 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
 - (ク) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ② 上記①以外にも、携帯電話やイヤホン等の電子機器類をバッグ等にしまわず身に付けていたり、故意に他の受験者の迷惑となる行為をしたり、試験監督者の指示に従わなかったり、その他、試験の公平性を損なうような行為をすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、①と同様です。

(5) 入試過去問題活用宣言

- ・ 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。
- ・ 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- ・ 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しております。 <https://www.nyushikakomon.jp/>

5 出願手続

出願は「インターネット出願」のみです。（紙媒体の願書はありません。）

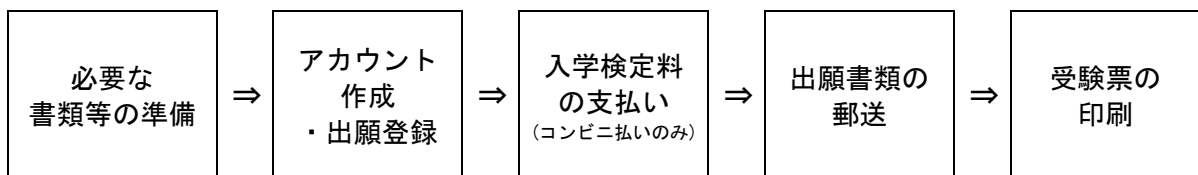
出願方法等に関する詳細は、別冊の「総合型・学校推薦型・特別選抜インターネット出願利用ガイド」を参照してください。

「総合型・学校推薦型・特別選抜インターネット出願利用ガイド」は本学ウェブサイト (<https://www.unii.ac.jp/admissions/web-application/>) に掲載しています。（資料請求可）

インターネット出願は、①Post@net からアカウント作成・出願登録、②入学検定料の支払い、③出願書類を締切日までに郵送することにより完了します。期間外の手続は、いかなる理由でも受付できません。

出願手続は、パソコンの他、スマートフォンやタブレット端末からも可能です。

次の流れに沿って、手続を行ってください。



(1) 出願期間

選抜区分	インターネット 出願登録期間	入学検定料払込期限	出願書類郵送締切日 (消印有効)
学校推薦型 選抜	令和 8 年 11/2(月)～11/6(金)の <u>17:00 まで</u>	<u>出願登録した翌日の 23:59 まで</u> ただし、 出願登録最終日 (11/6) に出 願登録した場合は、当日の 23:59 まで (注) 出願書類の郵送期限は最終 日の消印に限りますので、余裕を もって出願してください。	令和 8 年 11/6 (金) 消印有効

※・入学検定料払込期限を過ぎた場合、登録した内容での入学検定料支払い（コンビニ払い）ができなくなります。

・出願書類の提出は郵送に限ります。出願期間後の消印が押されたものは受理しません。

< 出願内容の変更について >

- ・入学検定料を支払う前であれば、すでに登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行うことで変更が可能です。再度、Post@net へログインして出願登録を行い、入学検定料の支払いと出願書類の郵送を行う必要があります。
- ・**出願受付後の出願事項の変更は認めません。**ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに事務局入試課（TEL 025-270-1311）まで連絡してください。

(2) 出願方法

本学ウェブサイト (<https://www.unii.ac.jp/>) にアクセスし、「インターネット出願サイト」の Post@net の学校一覧から出願登録の上、入学検定料の支払いを行ってください。その後、出願書類を郵送（「簡易書留・速達」）により提出してください。

(ア) 必要な書類・情報等の準備

出願に必要な下記の書類・情報等を準備してください。

出願に必要な 書類・情報等	摘要
入学志願票	・本学のウェブサイト (https://www.unii.ac.jp/) からインターネット出願サイトにアクセスして、出願登録を行ってください。 ・出願登録を行う際は、志願者の顔写真データ（JPEG 又は HEIC 形式、30 MB までの画像）をアップロードしてください。 顔写真データは、出願 3 か月以内に撮影したもので、カラー、上半身、無帽、無背景、正面向きのものとしてください。マスクは外してください。 写真は加工せず、試験当日に本人照合できる写真を使用してください。 ※不適切な画像データは受付できませんので、ご注意ください。 その後、下記ファイルをダウンロードし、A 4 用紙に印刷してください。 ・入学志願票 ・出願用封筒宛名シート

推薦書	・所定の様式により学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 - 国際地域学部・人間生活学部に出願する場合は学校推薦型選抜推薦書（国際地域学部・人間生活学部）、国際経済学部に出願する場合は学校推薦型選抜推薦書（国際経済学部）を提出してください。 ※推薦書の様式は本学ウェブサイトよりダウンロードできます。 - URL:https://www.unii.ac.jp/admissions/essential-point/
志望理由書	・所定の様式に、本人自筆で必要事項を記入してください。 - 国際地域学部・人間生活学部に出願する場合は学校推薦型選抜志望理由書（国際地域学部・人間生活学部）、国際経済学部に出願する場合は学校推薦型選抜志望理由書（国際経済学部）を提出してください。 ※志望理由書の様式は本学ウェブサイトよりダウンロードできます。 - URL:https://www.unii.ac.jp/admissions/essential-point/
調査書等	・文部科学省所定の様式により、出願前3ヶ月以内に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 - なお、高等専門学校3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。
住民票 (新潟県内の高等学校等からの受験者のみ)	・受験者本人の住民票1通を提出してください。 (本籍、世帯主氏名、世帯主との続柄及びマイナンバー（個人番号）は記載不要) ※「新潟県内の高等学校等からの受験者」とは、本人が令和8年（2026年）1月1日以降引き続き新潟県内に居住している者で、新潟県内の高等学校等を令和8年度（2026年度）中に卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者をいいます。
出願用封筒 (角型2号)	・市販の角2封筒（A4サイズの書類が入る封筒）を用意してください。 ・入学検定料支払い後に、Post@net から「入学志願票」及び「出願用封筒宛名シート」をダウンロードし、印刷してください。印刷した「出願用封筒宛名シート」を封筒に貼り付け、出願書類（①入学志願票、②推薦書、③志望理由書、④調査書等、⑤住民票（新潟県内の高等学校等からの受験者のみ））を同封したうえで、郵送（「簡易書留・速達」）により提出してください。

(イ) 入学検定料の支払い

入学検定料	払込手数料	支払方法
17,000 円	484 円（税込）※志願者負担	コンビニエンスストア支払い

- ・検定料の支払いは、出願登録した翌日の23:59まで（出願登録期間最終日[11/6]に出願登録した場合は、当日の23:59まで）に必ず行ってください。
- ・ATM（現金自動預払機）、銀行窓口での振込み、クレジット支払い等はできません。

(ウ) 出願書類の郵送

- ・Post@net へログインし「出願内容一覧」より本学の「出願内容を確認」を選択し、「**入学志願票**」及び「**出願用封筒宛名シート**」をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。
- ・市販の角2封筒に「**出願用封筒宛名シート**」を貼り付け、出願書類（①入学志願票、②推薦書、③志望理由書、④調査書等、⑤住民票（新潟県内の高等学校等からの受験者のみ））を同封して、**郵送（「簡易書留・速達」）**により提出してください。
- ・出願書類の提出は郵送に限ります。出願期間後の消印が押されたものは受理しません。

(エ) 受験票の印刷

- ・出願期間終了後、本学が受験番号を付番した後、試験日1週間前までに、登録されたメールアドレスに「受験票作成完了メール」が送信されます。Post@net へログインし「出願内容一覧」より本学の「出願内容を確認」を選択して「**デジタル受験票**」をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4で**カラー印刷**してください。
- ・受験票は試験当日に必ず持参してください。試験日の3日前までに「受験票作成完了メール」が届かない場合は、事務局入試課（TEL 025-270-1311）まで連絡してください。

(3) 出願上の注意事項

- ・ 本学の総合型選抜に出願し、1次選考に不合格となった場合には、本学の学校推薦型選抜に出願することができます。
※1次選考に合格した場合、本学の学校推薦型選抜に出願することはできません。
 - ・ 必要な書類のすべてが揃っていない場合には受付できませんので、出願の際には十分確認してください。(住民票は新潟県内の高等学校等からの受験者のみ提出してください。)
 - ・ 本学の入学試験に合格し入学手続きを行った者は、本学における以降の日程の入学試験を受験したとしても、合格となりません。
 - ・ **出願受付後の出願事項の変更は認めません。**ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに事務局入試課(TEL 025-270-1311)まで連絡してください。
 - ・ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
 - ・ 一度受理した出願書類は返還しません。なお、入学検定料は、以下のいずれかに該当する場合に限り返還します。
 - (ア) 入学検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合であって、振込名義者本人から返還の申請があること。
 - (イ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合であって、振込名義者本人から返還の申請があること。
- ※上記理由による検定料返還の申し出は、出願期間の最終日から1ヶ月以内とします。

(4) 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等のある者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和8年10月5日(月)までにあらかじめ事務局入試課(TEL 025-270-1311)に相談してください。相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。相談の期限後に、配慮が必要となった者は、至急上記の連絡先に問い合わせてください。
なお、相談することにより受験生に不利益を与えるものではありません。

6 合格者発表

(1) 発表日時

令和8年12月3日(木) 午前10時

(2) 発表方法

- ・ 合格者受験番号を、本学のウェブサイト(<https://www.unii.ac.jp/>)及びモバイルサイト(<https://daigakuji.jp/unii/>)に掲載します。合格者本人には、合格通知書及び入学手続きに要する書類を後日郵送します。(不合格者には通知しません。)また、推薦学校長宛てに文書で可否の通知をします。
- ・ 電話、ファックス、電子メール、郵便等による可否の問い合わせには一切応じません。
なお、試験当日、試験場周辺において可否結果の電子郵便等の勧誘をする業者が見かけられることがあります。本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。

7 個人情報の開示等

(1) 個人情報の開示

本学の学校推薦型選抜を受験した者(本人に限る)は、以下の内容について、**郵送**により開示を請求することができます。

・開示内容

県内順位又は県外順位並びに総合順位

・開示請求方法

以下のものを同封のうえ、下記送付先へ郵送してください。

- ①必要事項を記入した「入試情報開示請求書」(本学ウェブサイト (<https://www.unii.ac.jp/admissions/personal-information/>) より入手可能)
- ②受験票(デジタル受験票は令和9年3月31日(水)までPost@netよりダウンロード可能。開示書類とともに返却)
- ③受験した者の現住所を確認できる書類(住民票(発行日から3ヶ月以内のもの)、マイナ保険証(写・表)又は資格確認書(写・両面)、運転免許証(写)、公共料金の領収書(写)のいずれか)
- ④返信用封筒(長形3号:120mm×235mm)に受験者本人の郵便番号、住所(上記③の書類に記載されている住所)及び氏名を明記し、郵便切手460円分(定形郵便・簡易書留)を貼付したもの。

・開示請求期間

令和8年12月3日(木)から令和8年12月25日(金)まで ※期間内必着

・入試情報開示請求書送付先

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬471番地 新潟県立大学 入試課

・開示方法

後日、受験者本人宛に郵送します。

(2) 個人情報の利用について

出願時に本学が取得した氏名、住所その他の個人情報は、次の目的以外には利用しません。

- ・入学者選抜(出願処理、試験実施、成績処理等)、合格通知、入学手続案内、入学者選抜に係る調査・研究等の入試事務及びこれらに付随する業務
- ・入学に伴う教務事務(学籍、修学指導等)、学生支援事務(健康管理、奨学金申請、保護者会等)、授業料等の収納事務及びこれらに付随する業務

8 入学手続、初年度納付金、経済的支援制度

(1) 入学手続

(ア) 入学手続期間

令和8年12月7日(月)から12月11日(金)まで

※ 入学手続期間最終日消印有効とします。期間後の消印が押されたものは受理しません。
上記期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

(イ) 入学手続方法

- ・入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。
- ・入学手続は、必要な書類を揃え、郵送(簡易書留・速達)により行ってください。

(ウ) 注意事項

入学手続は郵送(消印有効)に限ります。持参による手続は受け付けません。

(2) 初年度納付金

(ア) 入学料

入学手続の際に、次の金額の入学料を納付する必要があります。

- i) 新潟県の住民 282,000円
 - ii) 上記以外の者 564,000円
- ・「新潟県の住民」とは、本人又はその配偶者もしくは1親等の親族が、令和8年(2026年)

- 1月1日以降引き続き県内に居住している（住民票のある）者をいいます。
- ・入学料は、今後改定する場合があります。
 - ・入学を辞退した場合、納入した入学料及び書類は、理由のいかんを問わず返還しません。

(イ) 授業料

- i) 金 額 年額 535,800 円
- ii) 納付方法 入学後に前期（4～9 月分）、後期（10～3 月分）の 2 回に分けて納付

(3) 経済的支援制度

① 高等教育費の負担軽減に係る国の制度

(ア) 高等教育の修学支援新制度

一定の家計基準及び学力基準を満たす世帯（多子世帯含む）の学生は、所定の手続きを行うことで、入学料・授業料の免除又は減額、及び給付奨学金を受給することができます。詳細は、高等教育の修学支援新制度（<https://www.mext.go.jp/kyufu/student/daigaku.html>）にて確認してください。

(イ) 日本学生支援機構貸与奨学金

(ア)より幅広い世帯の学生を対象として、無利子奨学金及び有利子奨学金の貸与を実施しています。

(ウ) やむを得ない事由により家計が急変した学生等に対する支援

やむを得ない事由により家計が急変した世帯の学生に対しては、(ア)及び(イ)の両制度において、随時申込みを受け付けるなどの支援を実施しています。

② 大学独自の授業料減免・奨学金等

要件を満たす学生は、授業料減免及び奨学金等を受給することができます。

※ 経済的支援制度についての詳細は、本学ウェブサイト（<https://www.unii.ac.jp/college-life/keizaishien/>）にて確認してください。

【試験場案内図】



交通機関をご利用の場合は、

- 新潟駅バスターミナル2番のりばから「大形線」に乗車（所要時間約25分）、
「県立大学前」下車、徒歩3分
- ※「津島屋」行きに乗車の場合は「大形本町」下車、徒歩8分
- JR白新線「大形駅」下車、徒歩約15分 ■新潟駅からタクシーで約20分

- ※ 出願状況により、試験場・試験時間が変更となる場合があります。その際は、受験票に記載して連絡します。
- ※ 上記記載の所要時間はあくまで目安です。風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮して、時間に余裕をもって来場してください。
- ※ 駐車場は利用できません。公共交通機関を利用し、時間に余裕を持って行動してください。会場付近の商業施設等への駐停車は周辺の迷惑になりますので、おやめください。
- ※ 入学試験当日の緊急連絡については、本学ウェブサイト（モバイルサイト含む）にて発表します。

お問合せ先

〒950-8680 新潟県新潟市東区海老ヶ瀬 471 番地

新潟県立大学 入試課

TEL：025-270-1311

FAX：025-270-5173

MAIL：nyushi@unii.ac.jp

【入試に係る緊急連絡について】

入試に係る緊急連絡は、本学ウェブサイト（モバイルサイト含む）で行います。

ウェブサイト（PC）：<https://www.unii.ac.jp/>

（携帯）：<https://daigakujc.jp/unii/>

※ 受験者は携帯電話、パソコン等へ本学ウェブサイトの登録をしてください。

モバイルサイト
二次元コード

